



【目次】

- 1 えひめ自助・共助推進フェアを開催しました！
- 2 シェイクアウトえひめに37万1千人が参加！
- 3 「南海トラフ地震臨時情報」を知ってますか？
- 4 耐震化や家具の固定をしていますか？
- 5 若手インタビューあり！消防団PR動画を制作しました！
- 6 県の防災アプリ、メール、SNSで防災情報をいち早くゲット！
- 7 県からのお願い・えひめ防災ニュースレターのお問い合わせ先

【1】えひめ自助・共助推進フェアを開催しました！

県では、県民の防災に関する関心と理解を深め、自助・共助の一層の促進を図るため、えひめ防災週間（12月17日～23日）中の12月23日（水）に**えひめ自助・共助推進フェア**を開催しました。

県内の自主防災組織関係者や防災士など約500人が参加したフェアの内容を報告します！

○えひめ自助・共助推進フェアについて

【日時】令和2年12月23日（水）

10：00～17：00

※ステージイベント 13：00～16：30

【会場】松山市総合コミュニティセンター

（キャメリアホール、コミュニティプラザ、正面広場）



同フェアでは、災害から自分や家族、地域を守るために、自分の安全は自分で守る「自助」と、地域において互いに助け合う「共助」の果たす役割の大切さについて改めて考えてもらう機会として、**日本テレビアナウンサー防災報道担当である矢島学さん**を講師に、「**防災報道でみんなの命を守る！**」と題した基調講演や、**県歴史文化博物館専門学芸員の大本敬久さん**、**愛媛大学防災リーダークラブの上岡伶奈さん**による事例発表を行いました。

また、防災機関関係者や大学生などによる「**新型コロナ×防災**」みんなの命を守る！」と題したパネルディスカッションを行ったほか、会場となった松山市総合コミュニティセンター内のコミュニティプラザでは企業や団体による**防災展示ブース**を開設し、屋外のセンター正面広場では地震体験車や降雨体験装置、土石流3Dシアターを展示した**体験ブース**も設置しました。

なお、ステージイベント（基調講演、活動事例発表、パネルディスカッション）については、オンライン配信しておりますので、下記URLから是非ともご視聴ください！

閲覧先（YouTube）

<https://www.youtube.com/watch?v=UB6QyxYjeys>

▼基調講演

【テーマ】防災報道でみんなの命を守る！

新型コロナウイルス感染症の影響によりリモート出演となった**日本テレビアナウンサーの矢島学さん**は、防災報道という視点で、災害からどうすれば人の命を守ることができるのか、アナウンサーはどんなコメントをするべきなのかを語り、「自助と共助の連携、公助を組み合わせたバランスこそが、命を守る鍵」と訴えました。



▼活動事例発表

◇愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員 大本敬久さん

「地域の災害史を調べる・災害史に学ぶ」

文化や歴史だけではなく、地形、地質、自然、人々の暮らしの営みや自然を総合的に考える防災が大事であり、資料等を活かした「地域の記憶」を再構築することで、事前防災につながると訴えました。



◇愛媛大学防災リーダークラブ 上岡侘奈さん

「防災教育を上げる防災教育」

子どもたちの「防災スキル」を高めることが重要であり、子どもたちが自分たちの住む地域のリスクを知り、適切に対応するための学習が必要であると訴えました。



▼パネルディスカッション

【テーマ】「新型コロナ×防災」みんなの命を守る！

パネルディスカッションでは、コロナ禍における災害時の避難のあり方について話し合い、災害時、どんな避難が最適なのか考える自助の力、避難所で大切な共助の力など、自ら考え行動する力がより一層重要になってくると訴えました。

〈コーディネーター〉

南海放送キャスター

松岡宏忠さん

〈パネリスト〉

愛媛大学防災情報研究センターセンター長

森脇亮さん

愛媛県立衛生環境研究所所長

四宮博人さん

日本テレビアナウンサー防災報道担当

矢島学さん

愛媛大学防災リーダークラブ

坂口柗矢さん



▼展示・体験ブース

防災情報に関する9の展示ブースと、降雨や地震の体験等ができる体験ブースを設置し、来館者も含め多くの方が参加されました。

展示・体験ブースでは、クイズラリーを実施し、所定の場所を訪問した場合は、防災グッズ等の景品をプレゼントしました。



また、松山市立新玉小学校4年生3クラス及び松山市立雄郡小学校4年生3クラスが校外授業で来場し、展示・体験ブースで防災について学習しました。



【2】シェイクアウトえひめに37万1千人が参加！

地震発生時の安全確保行動の確認や防災意識の向上を図るため、県民総ぐるみの地震防災訓練として、12月17日(木)11時から、県下一斉に実施した「シェイクアウトえひめ」は、昨年度を16,934人上回る**371,122人(2,229団体(者))**の参加してもらいました。ありがとうございました。

当日は、県でも、関係団体を含めて約1万人が参加し、各庁舎等において1分間程度、机の下に隠れる等の安全確保行動をとるとともに、より実践的な訓練とするためのプラスワン訓練として、防災メールを利用した職員の安否確認操作訓練を実施したほか、伊予鉄グループ本社では、巨大地震によって火災が発生したとの想定での避難訓練や情報伝達訓練と併せてシェイクアウト訓練を実施しました。



(株)伊予鉄グループ本社でのシェイクアウト訓練

また、市町においても、全ての市町が訓練に参加し、HPや広報紙への掲載等を通じて訓練への参加を呼び掛けるなど、県と市町が連携して、文字通り県民総ぐるみで訓練を実施しました。

【3】「南海トラフ地震臨時情報」を知っていますか？

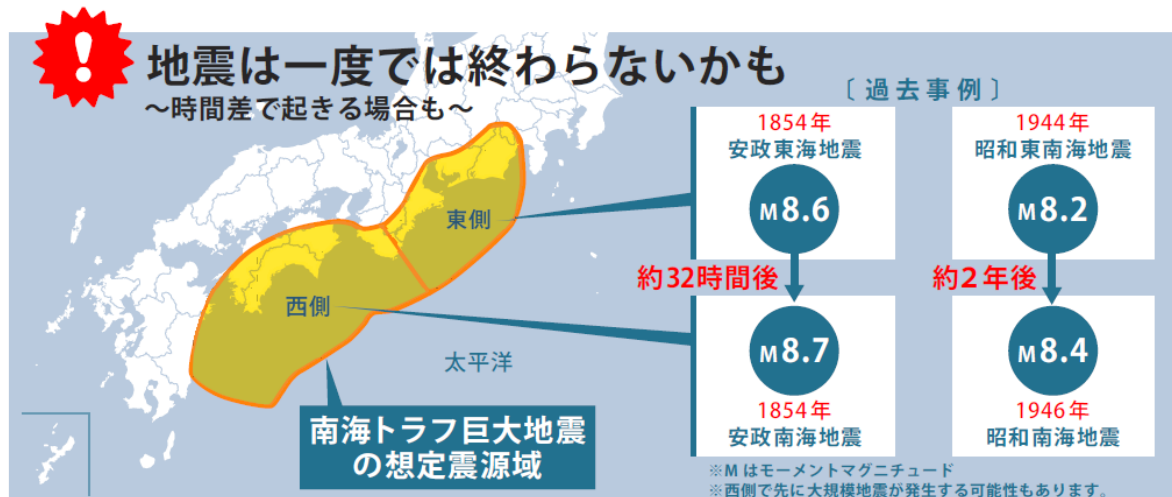
南海トラフ地震は約100～150年間隔で繰り返し発生していますが、その発生の方はさまざまで、大きな地震が一度に発生することもあれば、過去には**東西に分かれて時間差で発生した**こともあります。

「南海トラフ地震臨時情報」とは、南海トラフ沿いの片側で大きな地震が発生した場合など、南海トラフ地震の**発生確率が高まっていると判断された場合**に、気象庁から発表される情報です。

例えば、地震が発生した後、他の地域で大地震の発生確率が通常時に比べて高まっていると判断された場合に、後から発生する地震への警戒を促すために発表されます。

臨時情報が発表されたら、日頃からの地震の備えを再確認しましょう。また、地域によっては、避難が必要な場合がありますので、自治体からの呼びかけに従ってください。

臨時情報は地震の前に必ず発表されるとは限りません。大切なのは日頃からの地震の備えです。



出展：内閣府「南海トラフ地震—その時の備え—」

【4】耐震化や家具の固定をしていますか？

地震による死傷者の大半は家屋の倒壊や、家具の転倒によるものですので、**耐震化や家具の固定が重要です**。まずは**揺れによる被害から命を守る**ことを考えましょう。

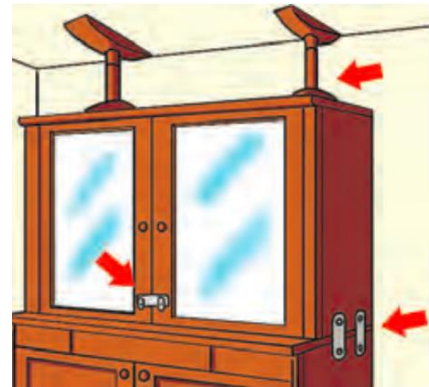
耐震化については、**旧耐震基準である昭和56年5月以前に着工した木造住宅の場合、自己負担3,000円から耐震診断が実施可能で、耐震改修へは100万円、耐震シェルター設置工事へは40万円の補助金を用意しています**ので、まずは愛媛県建築住宅課か、お住いの市町の市役所、役場の住宅相談窓口にお問い合わせください。



← オンラインでの戸別訪問の申込みで、県や市の職員が直接説明にお伺いすることも可能です。

家具の固定については、まず**家具の設置場所・方向が安全か確認**してください。例えば、寝室のタンスが倒れる先に布団を敷いている、家具が扉を塞ぐような形で倒れるなど避難の障害となる可能性はないか注意してください。

次に、**家具が適切な器具・方法で固定されているか確認**します。転倒防止器具は、つっぱり棒のようなポール式よりも、L字型の金具で壁に固定する方が転倒防止効果は高いです。賃貸などで壁に穴を開けられないという場合は、ポール式器具とマット式器具を組み合わせることで、転倒防止効果を高める方法もあります。



【5】若手インタビューあり！消防団PR動画を制作しました！

平成30年の西日本豪雨災害時、広域応援に駆けつけた隣接消防団と地元消防団による共同の災害応急対応が効果的であったことを踏まえ、令和元年度末に県・市町・消防事務組合において、大規模災害等に備えた「消防団広域相互応援協定」を締結し、さらに、この協定の実効性を高めるため、東・中・南予ブロック別の消防団合同訓練を実施しています。

一方で、人口減少、少子高齢化、サラリーマン化の進展等の社会環境の変化により、地域における消防防災体制の中核的存在である消防団員の確保が難しくなっています。

そこで、**消防団の魅力を広く伝え、消防団員数の減少に歯止めをかけるため、合同訓練と若手消防団員インタビューを収録した動画を制作しました。**

短い5分の動画なので、ちょっと見てほしいけん！

○消防団PR動画「愛媛の消防団」

時間	内容
0:00 ～0:22	オープニング
0:22 ～2:31	合同訓練の様子
2:31 ～4:50	若手消防団員インタビュー（5名）
4:50 ～5:06	入団呼びかけ・問い合わせ先



閲覧先 (YouTube)

https://www.youtube.com/watch?v=Xnx-Ph1uPhA&feature=emb_logo



【6】県の防災アプリ、メール、SNSで防災情報をいち早くゲット！

県内に対する防災情報をお手持ちの携帯電話やスマートフォン向けに提供しています。**どなたでもご利用いただけます**のでぜひご活用ください。



防災情報や避難ルートを多言語で、地図で視覚的に表示できる、県公式スマートフォンアプリです。

▼御提供する防災情報

地震・津波情報、気象注警報、土砂災害警戒情報、国民保護情報、市町からの避難勧告・指示情報や避難所開設情報など

▼地図で情報を表示できます

現在地周辺の施設やハザードマップ、市町の避難場所、避難所（開設したものを明示）、施設への参考ルート表示 など

▼利用の始め方 アプリストアからダウンロードしてインストール



または、「ひめシェルター」で検索

詳しくは、詳細ページ (<https://www.pref.ehime.jp/bosai/hime-shelter.html>) へ。



お手持ちの携帯電話やパソコンに電子メールで配信する、登録制メールサービスです。スマートフォンをお持ちでない方でもご利用いただけます。

▼利用の始め方

空メール (bousai.ehime-pref@ehime-pref.ktaiwork.jp) を送信し、自動返信されるメールから御登録ください。

(注意) 自動返信メールが届かない場合は、ドメイン名「bousaimail.jp」からのURL付きメールが受信できるよう、携帯電話の受信設定を確認・変更し、再度空メールを送信してください。

詳しくは、詳細ページ (<https://www.pref.ehime.jp/bosai/bosaimail.html>) へ。



空メール送信先
アドレスのQRコード

愛媛県防災SNSを開設しています！

県内の気象警報・注意報や土砂災害警戒情報などの災害情報の他、防災啓発情報などを配信しています。



Twitter @EhimeBousai <https://twitter.com/EhimeBousai>

Facebook 愛媛県防災 <https://www.facebook.com/EhimeBousai>

▼注意事項

いずれも無料でご利用頂けますが、通信に要する費用（パケット料）は、ご利用される方の負担となります。

▼お問合せ

愛媛県 県民環境部 防災局 防災危機管理課 防災情報係

TEL 089-912-2318

FAX 089-941-2160

Mail bousaikikikanri@pref.ehime.lg.jp

[7] 県からのお願い・えひめ防災ニュースレターのお問い合わせ先

県では、みなさんの地域での防災に関する取組みを紹介し、自主防災組織の活性化を図りたいと考えています。

あなたの地域での防災の取組みなどについて、教えてください。

▼募集内容

- あなたの地域でのユニークな防災活動に関すること（人・防災訓練・自主防災組織など）
 - 自主防災組織の取組事例
 - こんな事で困っている、苦勞している点または質問 など
- ※掲載資料、写真データの提供もお願いします。

▼お問い合わせ、情報提供および本ニュースレターについてのご意見は、下記までお願いします。

愛媛県 県民環境部 防災局 防災危機管理課 南海トラフ対策グループ

TEL 089-912-2325

Mail bousaikikikanri@pref.ehime.lg.jp

▼愛媛県HPでの防災情報はこちら

えひめの防災・危機管理ホームページ↓

<https://www.pref.ehime.jp/bosai/index.html>

